

# 大村市政だより

## 人口の動き

(2月末日現在)		前月比
人口	56,568	(-7)
男	27,250	(-5)
女	29,318	(-2)
世帯数	13,577	(+8)
出生	70	転入 243
死亡	30	転出 290

□昭和43年4月22日第三種郵便物認可 □毎月3回1日・10日・20日発行 □定価1部5円  
 □発行所 大村市役所 □編集人 総務課長 菊池綱昌 □印刷所 隆文社印刷所



## 企業の誘致も順調に

### 10万都市の基礎づくり

昭和四十二年年度の最終  
 議会で、大村市長は昭和  
 四十三年度のおもな施策  
 のあらましをつぎのとおり  
 説明しました。

なお、事業別の施策に  
 ついては、次号より連載  
 します。

× ×

本年は、私が市長とし  
 て就任して四期目の最終  
 の年であります。

願ひみれば四年前の市  
 長就任の時にあたり、私  
 が念願といたしました十  
 万都市造りの構想は着々  
 とその基礎を固めつゝあ  
 ります。すなわち、その  
 基礎となる企業誘致も軌  
 道にのり一昨年から富ノ  
 原一帯に数社の建設が決  
 まりすでに操業を開始し

(次頁へ)

☆☆☆

☆☆☆

☆☆☆

## さくらまつり

(3月25日~4月15日)



さくらの花がそろそろ咲き始めました。大村公園にはボンボリもつきました。大村公園、三城、野岳のさくらは県の内外に有名で、花見客の訪れで今年も大変なにぎわいが予想されます。

観光大村、花どころ大村を有名にするため、さくらの花を大切に、市内をきれいにいたしましょう。

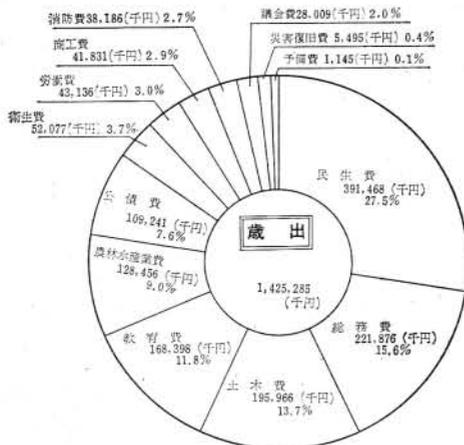
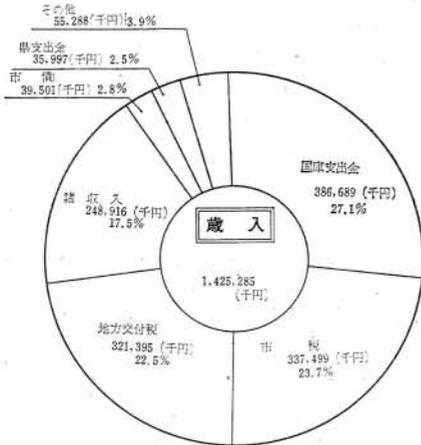
### 花みごろ

- ▷吉野ざくら 4月6日~8日ごろ
- ▷八重ざくら 4月12日~15日ごろ
- ▷つつじ 4月下旬
- ▷しょうぶ 6月上旬

一般会計の予算

国の予算編成の方針が総合予算主議をとり、中央地方を通ずる財政体質改善の第一歩を踏み出すことにより、財政が本来の機能を十分果し得る基盤を確立することを基本として編成されているので、国地方を通ずる財政機能を一貫したものにするために当市に於いても昭和43年度における財政の運営は基本的に国の施策に準じ重点主議に徹し、節度ある運営を行なうこととして編成しています。

そこで、予算計上にあたっては、国民体育大会の完遂、道路の整備、住宅の建設、教育の振興、企業誘致、交通安全対策を重点施策として限られた財源を重点的に配分し、一方經常経費の節減、合理化を行なうとともに、新規の経費は緊急なものに限定して計上しました。その結果、予算総額は前年度当初にくらべ、約1億9,400万円増の14億2,500万円余となっています。



大村市発展のため九州横断自動車道路の実態に努力

また、大村市の地理的条件を根本的に改善するために大きな期待が持た

れているものもあります。さらに、本年度には他の企業からの引合いもあり今後の見通しは誠に明るいものがあります。

住宅政策も市営、県営の公営住宅の建設が計画通りに進んでいます。

郷土色ある国体を

国体推進課も設置

国民体育大会もいよいよ来年に近まりましたので、本市の持つ特色を十分にいかして割当てられた競技種目を円滑に運営できるように施設などの整備も致島中学校が本年四

れている九州横断の高速自動車道路も本年中には調査の段階も終り、その着工も間近かではないかと努力をいたします。

とされます。さらに国鉄野野新線の計画も本年度こそは軌道にのりよう

月からいよいよ新校舎で授業を開始し、待望の総合中学が発足するわけがあります。

このような市政の重要施策を能率的に手ぎわよく処理するためには、市役所内部機構の改革も是非実施しなければならぬと考えます。本年当初には、まず国体推進課を新設することにしました。その他の機構改革はつぎの定例議会までに成果を得て実施したいと考えます。(つづきは次号です)

明治100年に

「みどり、をうえよう」

昭和43年は、明治となってからちょうど100年目にあたります。

現代に生きる私たちは先人に負けない遺産を次の世代にのこさねばなりません。その遺産の一つである樹木は長い生命力を持ち、たえまなく幾世代にわたって成長し続けます。

▷もし、あなたに山がある

ならば、ひのき、すぎなど記念造林をいたしましょう。

▷もし、あなたに庭があるならば、家族そろって、きれいな花や、花樹などをうえましょう。

▷もし、あなたに空地がなくても、窓辺にきれいな鉢植の花をならべましょう。

おしらせコーナー

中小企業の

労福祉施設

改善資金を貸付

県は、中小企業の保健衛生施設、安全危害防止施設、文化厚生娯楽施設などの整備改善を行なう事業所に対して、資金の貸付を行ないます。

貸付限度額

一企業につき百万円

利率 日歩一銭三厘七

毛(年利五分)

▽期間 二年以内

▽償還 月賦償還

▽指定金融機関 親和、十八銀行

▽申込み 四月十日まで

所定の申込書を長崎労働政事務所へ提供のこと

竹松部隊の運動会

春の竹松部隊運動会が行なわれます。市民みなさんのご参観を希望しています。

▽日時 四月五日

午前九時から

▽場所 竹松部隊グラウンド

当日は観閲式、仮装行列、隊員によるいろいろの競技があります。

松原農協で市税などが納められます

四月一日から、松原農協の窓口でも、市税や国民健康保険税、その他の手数料が納入できるようになりました。

松原地区の方は市役所松原出張所のほか、農協窓口もご利用ください。

市民あるこう大会 みんなで参加しよう

春の市民あるこう大会がつぎのとおり行なわれます。あるこう会員の方や一般市民の方もどしどしご参加ください。

▽日時 四月八日

午前十時出発

▽集合場所 市民会館前

▽コース 市民会館→駅前アーケード通り→本町↓片町↓大村公園

▽会費 ありません

なお、参加する場合は昼食を持って、軽い服装でご参加ください。

犬の登録と予防注射

昭和43年度の犬の登録と第1回目の狂犬病予防注射をつぎの日程で行ないます。犬を飼っている方は必ず登録するようにいたしましょう。

▷対象犬 生後91日以上たっている犬は全部

▷手数料 登録……1頭につき 300円  
注射……1頭につき 210円

なお、登録会場にくるとき犬は丈夫なくさりか、ひもで引いてきてください。登録と注射のすんだ犬には必ず鑑札をつけて放し飼いをしないようにして飼育してください。鑑札のついていない犬は捕獲されます。

実施月日	実施場所	実施時間
4.15	市役所(裏側)	9.00~15.30
4.16	市民会館(裏玄関)	9.30~12.00
	大多武婦人ホーム	13.30~14.30
4.17	今村公民館	10.00~10.30
	溝陸公民館	11.00~11.30
	三浦出張所	13.00~14.00
	農協西部支所	14.30~15.00
4.18	鈴田出張所	9.30~14.00
	黒岩駅前広場	14.30~15.30
4.19	黒木バス終点	10.00~10.30
	黒木小学出張所	11.00~11.30
	黒木瀬出張所	13.00~14.30
	萱瀨第一バス支所	14.40~15.00
	農協第一支所	15.20~16.00

四月の母子検診

四月の母子検診をつぎのとおり実施します。

なお、四月より検診日を一部変更しています。

▽萱瀨地区 第一金曜日に変更(従来まで第三水曜日)

▽竹松地区 第二金曜日に変更(従来まで第二水曜日)

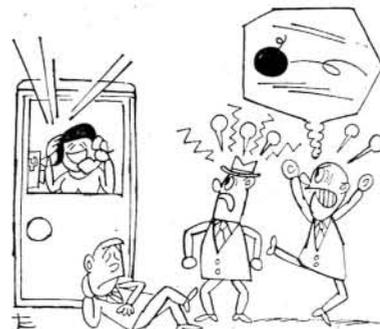
▽竹松地区 第二金曜日に変更(従来まで第二水曜日)

実施場所	月日	時間
萱瀨出張所	4月5日	9.30~12.00
三浦診療所	4月8日	9.30~12.00
鈴田出張所	4月9日	9.30~12.00
竹松出張所	4月12日	9.30~15.30
松原出張所	4月15日	9.30~12.00
福重出張所	4月16日	9.30~12.00

電話のながばなし

みんなが迷惑します

こんなことはやめましょう



市民手帳

日曜当番医 (4月中)

- 7日 貞松整形外科 藤井内科 野口内科 今田内科
- 14日 長野産婦人科 田崎外科 出口小児科 沢田内科
- 21日 松尾外科 海浜内科 琴尾内科 上田内科 榎本産婦人科
- 28日 南野内科 福田産婦人科 原内科

**労災保険強制適用の事業所が拡大されました**  
 4月1日から労災保険の強制適用事業所がつぎのとおりとなりました。  
 ▽対象事業所 5人以上の労働者を使用する事業所(商店、理美容業、旅館、病院、金融業など)  
 くわしいことは、諫早市永昌東町11の諫早労働基準監督署へおたずねください。

善意銀行に預託

市内中諏訪町溝上太久馬さんは亡母セキさん、中岳郷向田うきさんは亡夫万亀千さん、原口郷の山下秀文さんは亡長男清さんの忌明にそれぞれ金一封を社会福祉事業資金にと預託されました。

また、本小路九州凸版は印刷、藤間金寿満、頌三津、千恵嘉さんは舞踊・本竹良子さんは尼踊・渡辺裕さんは講演・福田政子さんは鉛筆・大村小五年田中賜子、伊藤久美子さんは茶器一揃をそれぞれ預託されました。

市内施設めぐり

35

農業協同組合

農業協同組合の前身は明治三十三年発布の産業組合法により設立された高川内信用組合、今富信用組合、今村信用販売購買組合、鈴田村信用組合、さらには竹松、西大村、萱瀬とつぎつぎに設立された各組合である。これらの産業組合は昭和十八年の農業団体法により強制団体化した。戦時統制機関となつた。大東亜戦争後は、昭和二十二年の農業組合法によって、旧農業会は農業協同組合となり、昭和二十八年までは、各地区に綜合農協九組合(松原、福重、竹松、萱瀬第一、萱瀬、西大村、大村、鈴田、三浦)と、特殊農協としての開拓農業協同組合、酪農協同組合、森林組合があり、それぞれ事業を行なっていた。松原農協は、組合員約四百名で、農家共済を豊かにするため、水稲の集団栽培、いちご、えんどうなどの栽培指導に力をいれている。

大村市農協組合長 高木隆虎氏

松原農協組合長 太田作次郎氏  
 開拓農協組合長 山添一男氏  
 森林組合長 田中惣次氏



写真上=大村市農協の正面 写真下=松原農協

せりやたんぼぼ

せりやたんぼぼが畑のあぜ道や小川の土手にたくさんはえています。たんぼぼはあくが強いのでよくゆがいて食べることせりは虫の卵などがついていますのでよくゆでて味わってください。

山にはわらびが出はじめます。わらびもあくがつよいので、木灰を入れた熱湯にしばらくつけ、水でさします。

これらの野草料理は、てんぷら、おひたし、ごまあえなどありますが、一番肝心なのは野草の自然の味をそこなわないように料理することが大切です。